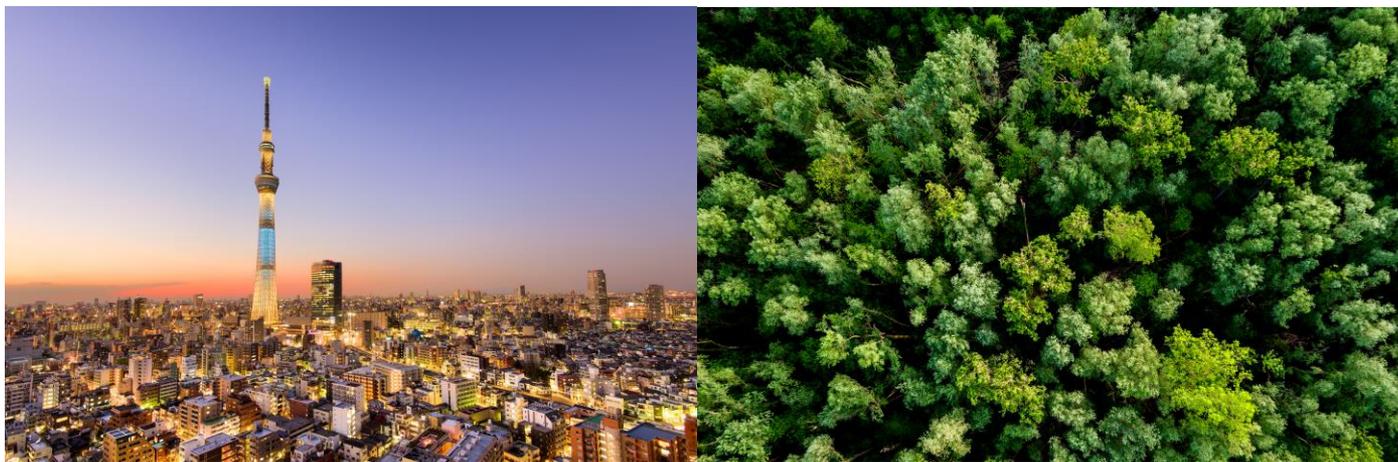


第2回Tokyo-NbSアクションアワード
～自然とともに未来をつくる～表彰式・交流会

ネイチャーポジティブで
豊かな暮らしをつくる



東北大学 グリーン未来創造機構・大学院生命科学研究科 教授

日経BP ESGフェロー

藤田香

2026年1月27日

国際目標「ネイチャーポジティブ」

「昆明・モンリオール生物多様性枠組」が打ち出した目標

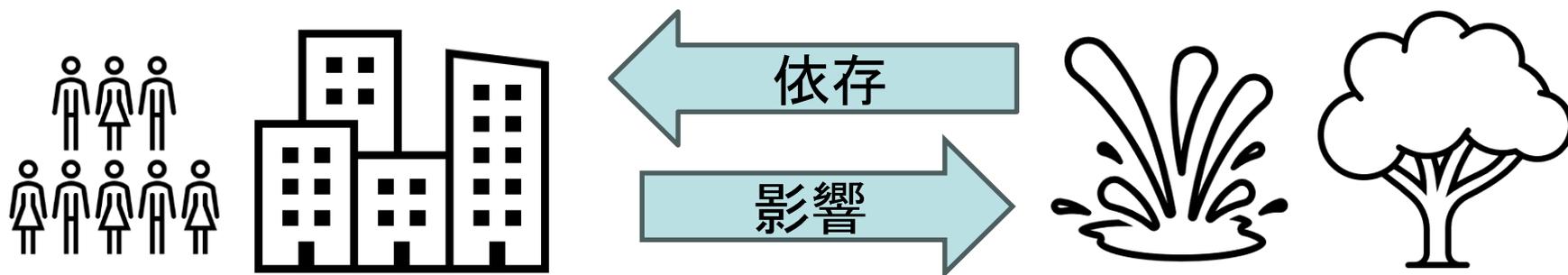
2030年までに生物多様性の損失を止めてプラスに転じる

Nature Positive by 2030



ネイチャー（自然や生物多様性）

企業と人々の暮らしにとって「重要な資源」



【自然の恵み】

- ・供給サービス: 水、木材、食料、薬
- ・調整サービス: 水源涵養、気候の調整、土砂崩れ防止、洪水防止、水の浄化
- ・文化的サービス: 癒し、景観、伝統や風習、食文化、レクリエーション

暮らしや企業活動の要

【保全と活用】

- ・NbS: 自然を活用して社会課題を解決する取り組み
- ・Tokyo-NbS アクション: 生態系の機能を活用して東京都の社会課題に対応し、人間の幸福と生物多様性の両方に貢献する活動
- ・グリーンインフラ: 自然の機能を活用した、河川や公園などの土地利用、地域づくりなどのインフラ整備

I 気候変動・防災・減災に関するもの

水質浄化や修景機能も併せ持つ「雨庭」

歩行者ネットワークの整備によるウォークアブルなまちづくり

雨水流出抑制および“あまみず”活用技術



四条堀川交差点
(京都府京都市)



南町田グランベリーパーク
(東京都町田市)



Green Infrastructure Model
(東京都目黒区)

II 緑と水の豊かな生活空間の形成に関するもの

線路跡地に整備したみどりの連なりによる良好な生活空間

豊かな自然資源を活かした働き方・暮らし方の提案

食べられる都市緑化のモデル（屋上菜園）



小田急線上部利用の街づくり
(東京都世田谷区)



東京ポートシティ竹芝
(東京都港区)



Edible KAYABAEN project
(東京都中央区)

III 投資や人材を呼び込む都市空間の形成に関するもの

自然環境と調和したオフィス空間

都市を再生しながら自然を再生

まちづくり・ひとづくりの拠点整備、放棄林の活用



二子玉川ライズ
(東京都世田谷区)



大手町の森
(東京都千代田区)



にぎわいの森
(三重県いなべ市)

IV 生態系保全や地域振興に関するもの

コウノトリ野生復帰に向けた、自然環境の回復

多自然川づくり・塩性湿地および干潟の再生

緑地を活用した魅力あるまちづくり



円山川直轄河川改修事業
(兵庫県豊岡市)



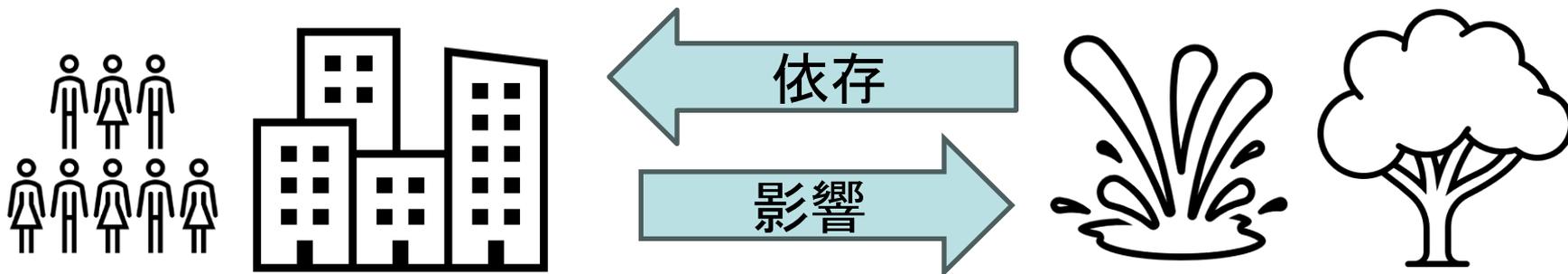
震災復興と流域圏創成
(宮城県気仙沼市)



キリンビール横浜工場
(神奈川県横浜市)

ネイチャー（自然や生物多様性）

企業と人々の暮らしにとって「重要な資源」



【自然の恵み】

- ・供給サービス: 水、木材、食料、薬
- ・調整サービス: 水源涵養、気候の調整、土砂崩し防止、水の浄化
- ・文化的サービス: 癒し、景観、伝統や風習の継承

【保全と活用】

- ・NbS: 自然を活用して社会課題に対応し、人間の幸福と生物多様性の両方に貢献
- ・Tokyo-NbS アクション: 生態系を活用した防災・減災、気候変動適応、水質改善、河川や公園などの土地利用、地域づくりなどの取り組み
- ・グリーンインフラ: 自然の機能を活かした防災・減災、気候変動適応、水質改善などのインフラ整備

防災・減災、景観や癒し

自然を保全し、活用することが、安全で豊かな暮らしにつながる

国の戦略：ネイチャーポジティブは 企業価値と地域価値の向上に寄与する

「ネイチャーポジティブ経済移行戦略」

●ネイチャーポジティブ経営＝

- ・自然の保全をマテリアル(重要課題)と位置づけ
- ・自然への**負荷を最小化**し、自然への**貢献を最大化**する経営

●株価向上や株価純資産倍率(PBR)改善につながる

日経ESG2024年5月号

<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00005/040200440/>

防災・減災による暮らしの安全、不動産価値の向上、癒し効果や景観の向上による地域のブランド価値向上、食の安全保障、高い技術力の提供など、様々な観点から、企業価値向上と地域価値向上に貢献する

「ネイチャーポジティブ経済移行戦略のロードマップ」

●企業価値向上と地域価値向上の両立。バリューチェーンとランドスケープ・アプローチ

●自然資本の価値を**見える化**して経済価値に換算、「**ネイチャーファイナンス**」を拡大

●国際ルールづくりへの参加

日経ESG2025年9月号

<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00008/082900042/>

企業単体ではなく、 企業が地域が連携して取り組む重要性

ランドスケープ・アプローチが重要

地域・流域・海域でネイチャーポジティブにする



1

Copyright 東北大学／日経ESG 藤田香

日経ESG2025年1月号(藤田)↓

<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00005/120300484/>

7

Copyright 東北大学／日経BP 藤田香

東京都生物多様性地域戦略

基本戦略ごとの行動目標

基本戦略Ⅰの行動目標

生物多様性バージョンアップエリア 10,000+

「自然地の保全管理」「みどりの新たな確保」「公園・緑地の新規開園」により、生きものの生息・生育空間や生態系サービスの維持向上を図るエリアを「生物多様性バージョンアップエリア」として位置付け、行政として10,000ha目指す。さらに、民間の取組を「+（プラス）」で表現し、様々な主体と共に取り組んでいく。



陽の届かない人工林



豊かな森林へバージョンアップ

新たな野生絶滅ZEROアクション

2030年時点で、新たに野生絶滅となる種がゼロとなるようにするための実効性のある取組を様々な主体と共に実施することを目指す

基本戦略Ⅱの行動目標

Tokyo-NbSアクションの推進 ～自然に支えられる都市東京～

自然を活用した解決策（NbS）となる取組を、行政・事業者・民間団体など各主体がともに推進する。2030年までを「NbS定着期間」と捉え、各主体がNbSとなる取組を実施することを目指す。

■NbS（Nature-based Solutions）

自然の機能を活用した社会課題の同時解決

例）自然災害リスク

NbS グリーンインフラによる
減災機能の強化

緑地、雨水貯留浸透施設 等
<地下水涵養、雨水流出抑制>

自然災害リスクの低減に貢献

基本戦略Ⅲの行動目標

生物多様性都民行動100%

～一人ひとりの行動が社会を変える～

保全活動への参加や消費行動など、全ての都民が生物多様性に配慮・貢献することを目標とする。また、都民だけでなく、事業者・民間団体等、あらゆる主体が生物多様性に配慮・貢献する取組を推進していく。

■都政モニター調査（2020）

「自然環境や生きもののために日頃から心がけていること」

特に何もしていない…10.7% ←ゼロに



自然を守る活動に参加



環境に配慮した商品の選択

10の行動方針

地域の生態系や多様な生きものの生息・生育環境の保全

希少な野生動植物の保全と外来種対策

人と野生動物との適切な関係の構築

自然環境情報の収集・保管・分析・発信

東京産の自然の恵みの利用（供給サービス）

防災・減災等につながる自然の機能の活用（調整サービス）

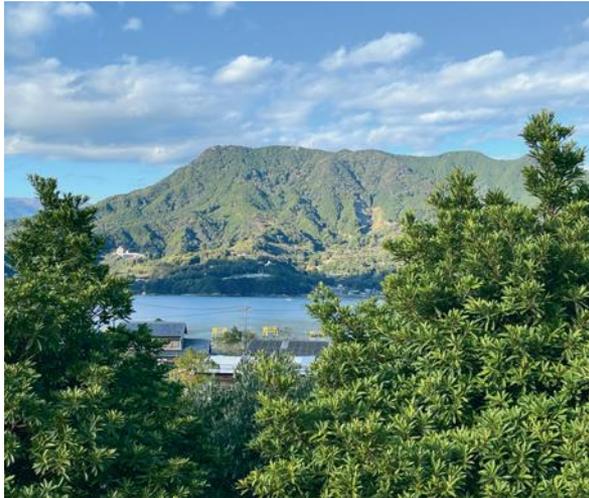
快適で楽しい生活につながる自然の活用（文化的サービス）

生物多様性の理解促進

生物多様性を支える人材育成

都内だけでなく地球環境にも配慮・貢献する行動変容

三重県尾鷲市、森を戦略政策に



- ・町の92%が森林
- ・LINEヤフーやパナソニック、三菱重工など9社と連携し、企業版ふるさと納税で、24年度に同市に3200万円を提供した。

＜森の再生＞

- ・ゾーニング。ヒノキ林を間伐し、森林整備や木材産出のみならず、一部をクマタカがすすめる落葉樹に再生。
- ・粘土化した森の土壤に溪流を取り戻し、海への水循環を復活させる。

＜カーボンクレジット創出＞

- ・24年度に1149tのクレジット創出。LINEヤフーやサカイ引越センター、小田急電鉄が購入。LINEヤフーは今後10年間、毎年500tのクレジット購入を同市と契約済み。

＜海＞

スシローは養殖ブリを調達、海と森はつながるとして尾鷲の森や藻場の再生活動を支援



出所／日経ESG2025年2月号(藤田)

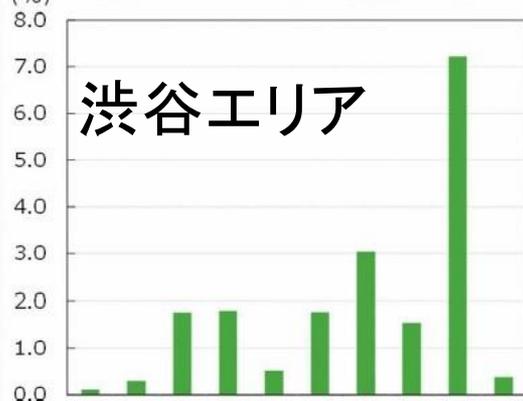
<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00005/0109004932>

不動産会社の例

東京都・渋谷の街でのネイチャーポジティブが
ヒートアイランドの緩和、従業員の癒し効果に結び付く

生物の増加

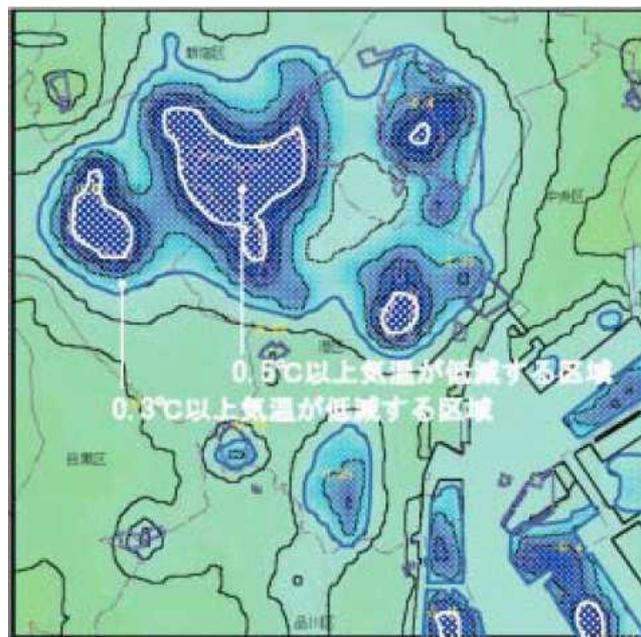
生物多様性再生効果（建設前⇒建設後）



※ () 内は竣工年

ヒートアイランドの緩和

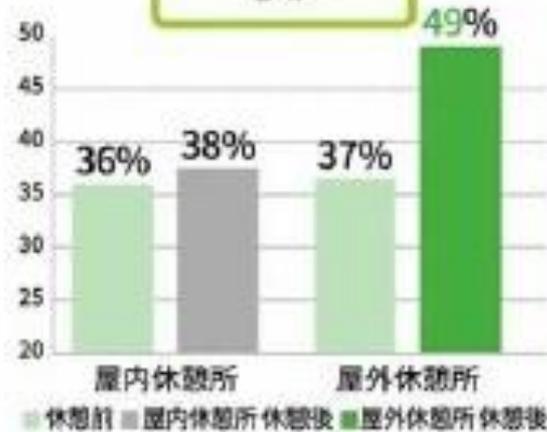
緑地保全・緑化施策を講じた場合の低減する気温差



従業員の集中度向上

作業後 集中度

休憩後 集中度
34.6% UP



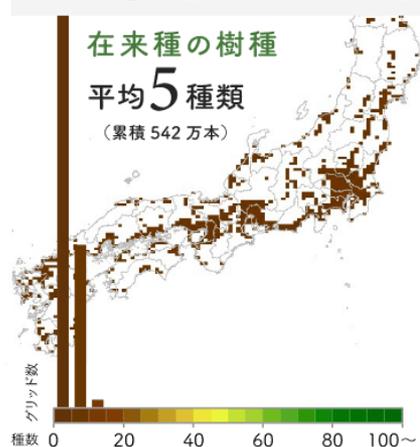
住宅メーカーの例

住宅の庭でのネイチャーポジティブが、地域全体の生物多様性を高める。効果を科学的に定量評価



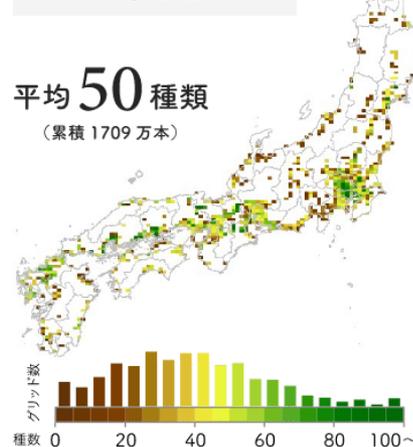
- ・積水ハウス「5本の樹」プロジェクト
3本は鳥を呼ぶため、2本はチョウを呼ぶため、住宅の庭に在来種を植栽
- ・20年間で住宅の庭に日本全体で1709万本の在来種を植栽。

「5本の樹」計画を行わなかった場合



10倍

「5本の樹」計画の効果



- ・琉球大学の久保田康裕教授の「シンク・ネイチャー」が構築した生物多様性ビッグデータを活用して生物多様性向上効果を定量評価したところ、在来種の樹種が10倍に増え、鳥を2倍、チョウを5倍を増やす効果があることが分かった。

NbSを企業価値向上や地域価値向上 に結び付けるポイント

1 企業と地域の上手な連携

企業が地域と良い関係を結ぶコツ、ヒント

2 効果の創出、テックとファイナンスの活用

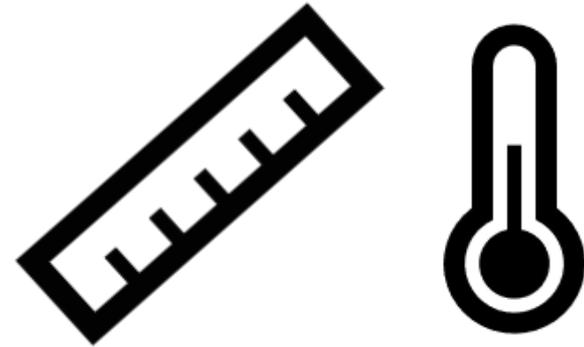
自然が豊かになり、人々の暮らしが豊かになった効果を測る、資金呼び込むためにも必要

自然に関する技術「ネイチャーテック」が重要に 科学に基づく測定と見える化

■ 世界の主な「ネイチャーテック」

組織	分野	区分	概要
アイバット (IBAT) アライアンス (英)	地理情報システム	報告	絶滅危惧種、種への脅威の軽減・回復指標、保護区、生物多様性重要地域、希少性を考慮した生物の豊かさを地図化し、場所ごとに生物多様性を把握して開示できる情報を提供
ジャイブ (米)	センシング 地理情報システム	測定	河川の広範な流域に設置したセンサーから得られた水質情報を地図化し、河川の水質分布の変化、藻類の異常繁殖の予測、河川の水質や生態系の再生への示唆を提供
ジェネシス (仏)	センシング	測定	土壌サンプルと衛星データを用いて土壌の保水力、生物多様性、炭素貯留量を把握し、持続可能な農作物バリューチェーンの構築を支援
エムサイエンス (独)	環境DNA	測定	花粉媒介者や益虫の多様性、農地の害虫や土壌中の微生物や真菌の組成などを環境DNAにより時系列で取得・分析し、農業および林業経営形態の自然関連指標を評価
東北大学ANEMONE (日)	環境DNA	測定	環境DNAを利用した生物多様性観測網「ANEMONE」を運用し、大学や企業、行政、地域住民が連携することで全国をカバーする生態系ビッグデータを獲得して提供
ピーオダイバーシティ (ベルギー)	環境DNA 化学分析	測定	ミツバチが収集した花粉の分析を通して生物多様性と汚染を測定し、事業地などでのリスク評価と優先順位付けを提供
eDNAテック (カナダ)	環境DNA	測定	魚介類などの商業的に重要な種、外来種、絶滅危惧種の分布と動態のモニタリングから、海洋を含む事業用地修復の有効性を測り、開示指標に沿ったデータを提供
エンピロディーエヌエー (豪)	環境DNA	測定	水生脊椎動物の生物多様性の状態を評価し、自然資本会計として定量化するとともに、経時変化の跡跡を支援することで、事業の法令遵守と持続可能性の向上への助言を提供
ネイチャーメトリクス (英)	環境DNA	測定 報告	環境DNAを用いた事業地での生物多様性指標の推移を示すダッシュボードを提供し、企業の自然関連戦略の成熟度評価、自然に関する依存と影響およびリスクと機会の分析を支援
ワイルドテックDNA (カナダ)	環境DNA	測定	野生生物の違法取引や病気の蔓延を抑制するため、簡易で安価なキットを用いて生物や病原菌の種類を20分強で迅速にDNA分析
バイオーム (日)	ビッグデータ解析	測定	ユーザーから寄せられる生物観察情報をリアルタイムで生物多様性分布ビッグデータとして蓄積・解析し、企業・行政などに自然資本データを提供
ナチュラル・キャピタル・リサーチ (英)	ビッグデータ解析	報告	独自のデータライブラリを用いて、企業の事業拠点別の自然資本・生物多様性との関わりが見える化、リスク・機会の分析、リスク対策への支援を提供
シンク・ネイチャー (日)	ビッグデータ解析	報告	世界30万種以上の生物の分布データと150以上の指標を用いた評価・解析により、企業の自然との関わりを可視化し提供
ザイロ・システムズ (豪)	ビッグデータ解析	報告	企業のセクター・経済活動・事業地にひも付く既存の生物多様性データを数分間で解析し、自然関連情報開示に用いることができる報告形式に出力するとともに、経時的変化も評価
アグリナ (デンマーク)	再生農業 リモートセンシング	測定	農家に対して再生農業を支援し、人工衛星とAIを用いて再生農業をモニタリングし、土壌に炭素が貯蔵されていることを確認するとともにカーボンクレジットの創出を支援
セラップ (英)	生物音響	測定	農地や牧場などに設置した専用デバイスで100m範囲の音を一定期間ごとに収集・分析し、生息する鳥類から「生物多様性スコア」を算出、複数サイトを比較できるダッシュボードを提供
ワイルダー・センシング (英)	生物音響	測定	事業地において短期～中期で鳥の音をモニタリング。そこから得られた鳥類分布を基に、事業地での自然の状態や、事業による環境影響、さらには自然再生の取り組みの効果を分析して提供
バイオメトリオ・アース (独)	リモートセンシング	測定	衛星データおよび現場で収集したカメラ画像や音響データにより、事業地などでの生物多様性データの指標とその推移を示すダッシュボードを提供
レム (英)	リモートセンシング	測定	生物多様性に特化した衛星、データベース、市民科学によるデータにより、企業のバリューチェーンにおける自然生態系をモニタリングし、自然資本を評価して開示向けデータを提供
ライフ・インスティテュート (ブラジル)	認証	検証	企業活動を生物多様性圧力指標 (温室効果ガス、土地利用、エネルギー利用、廃棄物、水利用) で評価し、生物多様性への依存と影響、リスクと機会を分析し、再生活動を認証

JINENNが生物多様性条約第16回締約国会議 (COP16) の展示会などを中心に、重要なネイチャーテックを選んだ。分野別に組織名をABC順で掲載した。測定が中心の技術、測定を基に報告できるようにした技術、価値化して検証できるようにした技術を「区分」で示した 出所: JINENN 代表取締役社長 宮本育昌氏



● 日経ESGオンライン feature記事

<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00008/082900042/>

● 日経ビジネス電子版

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00771/>

ネイチャーテックとは

●ネイチャーテック

ネイチャーポジティブへの移行を可能にし、加速し、拡大するあらゆる技術

●2024年末時点で、ネイチャーテックは、推計20億ドルの投資を得ている産業。200以上の取引事例が生じ、6年間で2倍に成長

以下のような分野がある

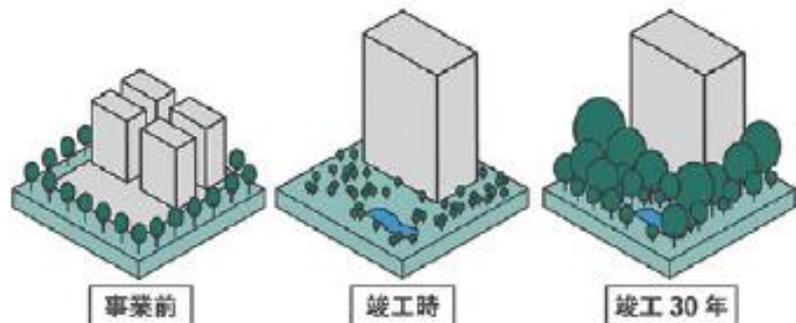
- トレーサビリティ、ESG/TNFD報告支援
- 測定と監視：環境DNA、ドローン、土壌計測
- モデリング：土地利用シナリオ、生態系モデル、リスク予想
- グリーンインフラ、自然再生、
- 資金メカニズム：自然クレジット、生態系サービス価値化

IUCN-J道家哲平氏の資料を参考



Nature4Climate, Nature Tech Collective, KPMG, Climate Collective and Serena "[Integrating nature tech: A guide for businesses](https://nature4climate.org/wp-content/uploads/2024/10/nature-tech-report.pdf)" (2024.10)
<https://nature4climate.org/wp-content/uploads/2024/10/nature-tech-report.pdf>

大成建設が開発した建設事業のネイチャーポジティブを評価する手法

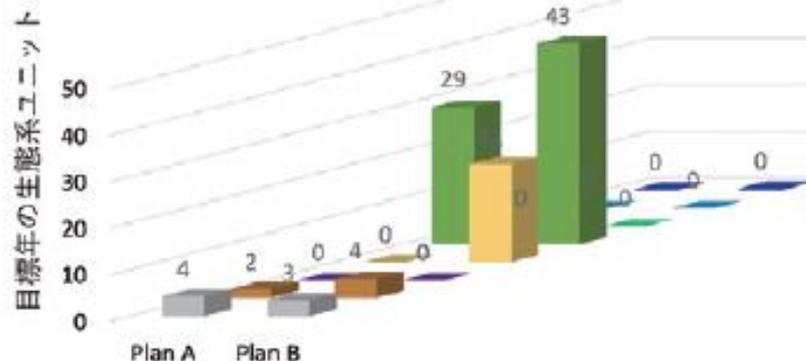
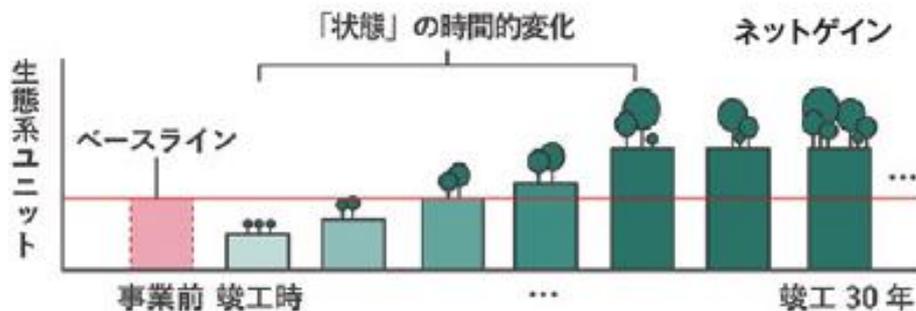


$$\text{生態系ユニット} = \frac{\text{量}}{\text{面積}} \times \text{質}$$

「質」は「特徴」「状態」「地域性」で構成される。

建設計画のプランの比較

- 1_住宅地
- 2_耕作地等
- 3_特殊基質
- 4_草原
- 5_森林
- 6_湿地
- 7_水辺・海辺
- 8_開放水域



大成建設は建設業界が活用できる「ネイチャーポジティブ評価手法」を開発した。生物が生息する環境の価値を「生態系ユニット」と呼び、「面積」と日本固有の環境を考慮した「質」を乗じて点数化。建設事業に伴う土地改変での変化を定量評価する。「ネットゲイン」の判定や建設計画の比較ができる

出所:大成建設

●日経ESGオンライン feature記事

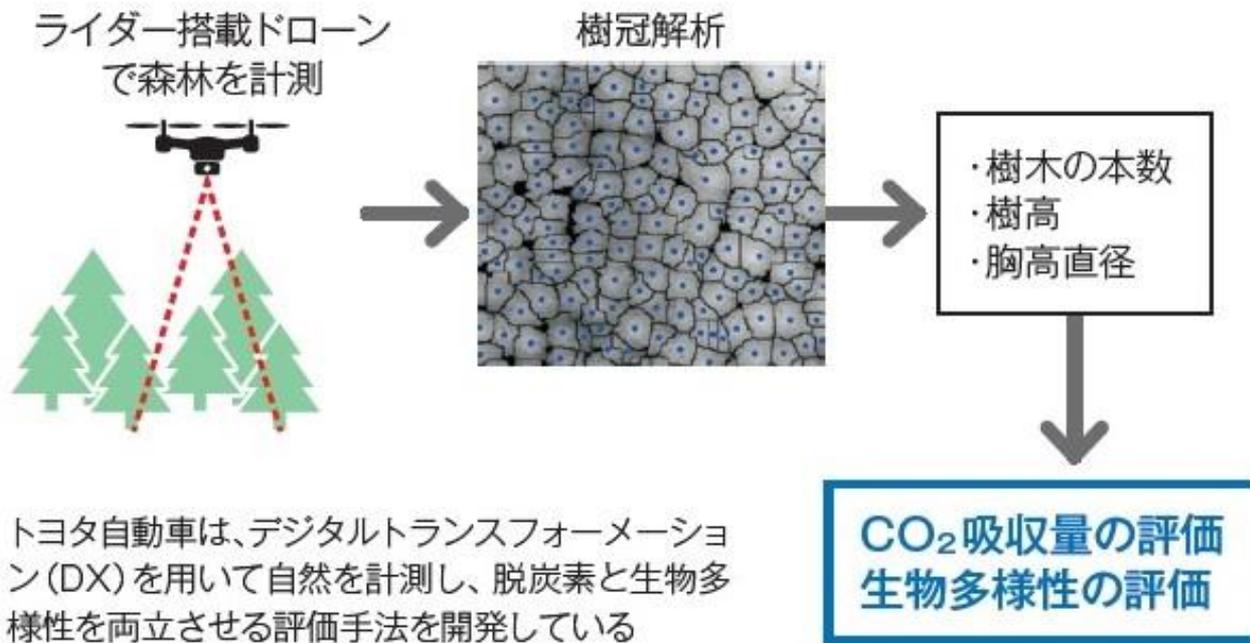
<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00008/082900042/>

●日経ビジネス電子版

<https://business.nikkei.com/atcl/gen/19/00771/>

トヨタ自動車も ネイチャーテックに乗り出す

トヨタが開発中のDXを用いた脱炭素と生物多様性の評価手法



LiDAR搭載ドローンで森林を計測、車両開発で培った解析ソフトで分析。CO₂吸収量と生物多様性も評価する。

音声データ解析による鳥の調査や、センサー付き監視カメラによる哺乳類の調査

北海道士別試験場など自然共生サイトで実証

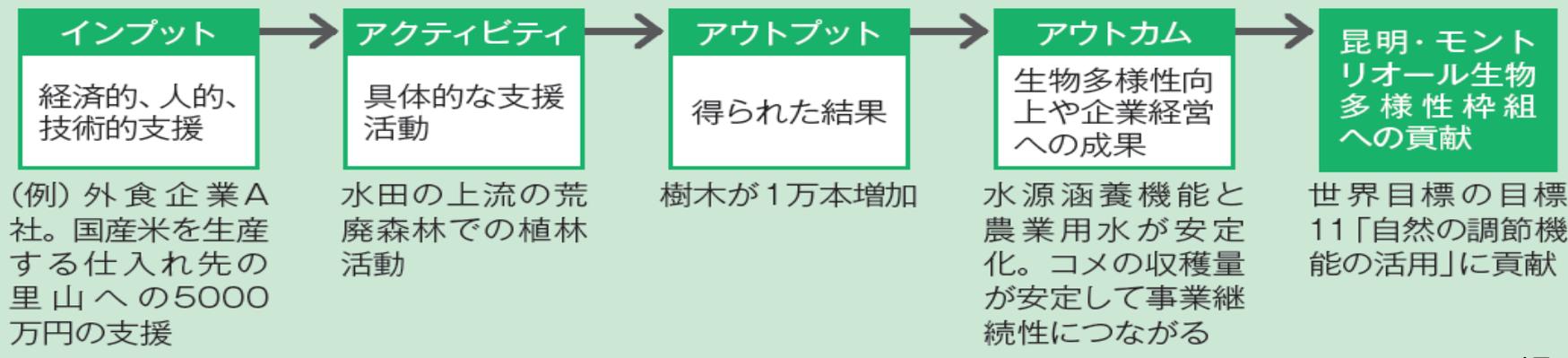
出所：サントリーホールディングス「ネイチャーポジティブフォーラム～サントリー天然水の森～」のトヨタ自動車の資料を基に作成、写真＝トヨタ自動車提供

自然共生サイトの支援証明書も 効果を出すことを求める

■「自然共生サイト」を支援する企業に支援証明書を発行



ロジックモデルに従って支援内容を記載



東京都のポテンシャルは大きい

- 企業の数が多い、企業同士が連携
- 多様な人材がいる、新規事業も生まれやすい
- 技術力がある
- 資金力がある
- 波及効果が大きい、発信力が高い
- 東京都の中にも都市部と地域がある、まさに全国の縮図、モデル的な取り組みができる

大規模法人

<最優秀賞> 清水建設

・臨海部に都市型ビオトープ“再生の杜”創出、希少種の保全に取り組み、行政やNPO・市民団体と連携し、気候変動適応などの社会課題解決に取り組み、地域共創活動に挑戦
生態系再生の高い技術力と地域連携

<優秀賞> 三菱地所レジデンス

・新築分譲マンションの緑地で、地域種や環境に配慮した維持管理手法を取り入れた独自基準「ビオ ネット イニシアチブ」を導入、「守る・育てる・つなぐ・活かす・減らす」を軸に、都市の生態系ネットワーク形成に資する緑化を推進
緑のネットワークで町の価値向上、不動産価値向上

中小規模法人

<最優秀賞> 東京チェンソーズ

・FSC認証の森林を中心に、森林環境整備、素材生産、販売事業、森林サービス事業、森の価値の発信を展開。森林管理により生物の生息地を創出し、素材の付加価値を上げ、地域の雇用創出や環境教育を推進
森林の価値創出でブランド化した製品開発、雇用創出

<優秀賞> パルシステム東京

・消失が危惧された里山を再生し、地域活性化と里山保全・活用を展開。組合員や地元住民を交えた自然体験活動を開催し、コミュニティ形成に寄与して里山の維持管理を実施
里山の再生とコミュニティの形成、組合員や消費者との密着

東京都だからこそ発信の効果が大 グローバル・ネイチャーポジティブ・サミット 2026年7/14-16@日本開催、でも発信しよう

ネイチャーポジティブ世界サミット2026 開催概要 (2025年5月時点)

GLOBAL
NATURE
POSITIVE
SUMMIT

GBFの実践と、ランドスケープレベルの取組加速を焦点に、ネイチャー・ポジティブの目標を推進する
「第2回 ネイチャーポジティブ世界サミット」を2026年7月に日本で開催する。



(画像) 第1回 ネイチャーポジティブ世界サミットの模様

- ✚ 主催 ネイチャー・ポジティブ・イニシアティブ (NPI)
- ✚ 共催 環境省(予定)、2026NPサミット組織委員会
- ✚ 協力 日経BP (予定)
*政府や経済界等の参画・後援等は決定次第、随時、更新されていく
- ✚ 日程 2026年 7月14日(火)、15日(水) (7/16はエクスカージョン)
- ✚ 開催都市 熊本市 (会場:熊本城ホール)
- ✚ 想定参加者 ネイチャーポジティブ社会の実現に関心のある国内外企業・NGO、自治体、教育研究機関 500名~1,000名
- ✚ 会議フォーマット
 - ・全体会
 - ・テーマ別セッション (複数テーマのパラレルイベント)
 - ・ランチセッション
 - ・展示/ポスターセッション
 - ・ハイレベル会談 (クローズ)
 - ・レセプション …等
 - ・ホスト市・会場候補を元に精査



※開催概要は一部変更になる可能性があります

日経BP No reproduction without permission

ご清聴ありがとうございました

<https://bookplus.nikkei.com/atcl/catalog/23/04/10/00762/>

<https://www.amazon.co.jp//dp/429620209X>



『ESGとTNFD時代のイチから分かる生物多様性・ネイチャーポジティブ経営』、藤田香著、日経BP発行、**2025年4月に第2刷**